

(第171回 友の会) マキノ高原・調子ヶ滝

★森の妖精に出会えるかも。。。

日 時：2019年8月25日(日)

集 合：JR湖西線マキノ駅

天 候：晴れのち曇り

参加者：一般53名(内子供1名) スタッフ20名 合計73名

当日は1週間前の猛暑続きの天候とは変わって、秋雨前線と共に雲が見られる過ごしやすい1日でした。

今回の観察会コースは、マキノ高原スキー場にある温泉さらさ前のバス停から調子ヶ滝までを往復するコースです。パンフレットでは往復90分のハイキングコースが紹介されています。

当日、スタッフの心配はマキノ駅から乗車するコミュニティバス(1時間に1本)に全員が乗車できるかという事でした。しかし、当日は私たち以外の乗客は1名で、運転手さんのご協力もあってバスは超満員でしたがメタセコイア並木を通過して無事に移動できました。

その日、マキノ駅観光案内所のおばさんとバスの運転手さんは団体のお客さんを前に、何となく嬉しそうでした。

バスを降りたら開始前の円陣です。人数確認とリーダーからのコース紹介や注意事項の説明。そして、先頭・最後尾を確認して観察会スタートです。今回私は青い旗を持って先頭を歩きました。初めは、グランドゴルフ場やキャンプサイトを横目に、川沿いや山沿いの草の上を歩きながらの観察でした。先頭を歩いていると沢山のバッタが慌てて逃げていきます。中には参加者の帽子や肩に止まって来る者もいて楽しませてもらいました。途中、森林セラピーロードやシラカバの空間を通り、ツリガネニンジン、ヤハズソウ、ブタナ、コニシキソウ、オオニシキソウ、クマノミズキ、アキノレ、



シラカバの空間を観察しながら通ります



ホツツジ



ツノハシバミ

ヤマブドウ、ヤマハンノキ、シモツケ、エゴノキ、カツラ、イタヤカエデ、ナツツバキ、ナナカマド、ヤマモモ、カキ、ミヤマガマズミ、ヒメヤシャブシ、ヌルデ、タンナサワフタギ、ホツツジ、ツノハシバミ、トキワイカリソウ、ホオノキ、ウマノミツバ、カナクギノキ、コハウチワカエデ、ギボウシ、タチドコロ、バイカオウレン、イワガラミ、サルトリイバラ、サルマメ、マルバマンサク、コシアブラ等々を観察しながら進みました。他にスタッフによるシデ類（アカシデ、イヌシデ、クマシデ）の説明ポイントもあり、12時半前には昼食場所に全員集合しました。昼食場所の少し先では猿の姿が確認され、鳴き声が山の方から聞こえてきたのですが、多勢に無勢でいつの間にかサル達はどこかに行ってしまいま



した。

昼食後の店開きでは、昆虫類の説明が盛りだくさんで子供も聞き入っていました。ヤスデは可哀想に皆さん嫌な顔して隣に回覧していました。その後、草木やキノコの解説が続きました。今日の店開きではスタッフの手作り資料が多数あり分かりやすかったと思います。中でも「バッタの見分け方」と「アカトンボの仲間の見分け方」を記した手作り資料が希望者に配布され好評でした。ありがとうございます。

午後は、全長 13m の調子ヶ滝に向けて約 5 分ほど山道を登りました。皆で滝のマイナスイオンを浴びたらUターンして下りの帰路です。

帰路の先頭も私でしたが、少し早足になってしまい反省です。しかし今日1日、道に迷わず下見通りのコースを通って無事に解散場所まで戻って来れて一安心でした。

観察会解散後のバス（帰路）では一般の乗客も少々あり、一部のスタッフを残して皆さん超満員のバスでマキノ駅へ向かいました。私は残された1人ですが次のバスで無事に帰路につきました。バス移動が大変だった一日でした。お疲れ様です。



キンモンガ



トゲグモ

調子ヶ滝でマイナスイオンをたっぷり。

昆虫類：トノサマバッタ、ヒナバッタ、クルマバッタ、ツマグロバッタ、ショウリョウバッタ、フキバッタ、ハネナガフキバッタ、クルマバッタモドキ、コバネイナゴ、ヤマクダマキモドキ、キリギリス、オオミズアオ、キンモンガ、オオチャバネセセリ、アオハナムグリ、アキアカネ、ノシメトンボ、シオカラトンボ

昆虫以外では：トゲグモ、ミドリババヤスデ、変形菌の一種のススホコリなど。

(文責 古結)